

「フォトプリントスキャナ」 製品分類別基準 (PCR番号:AV-03)

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
1	PCR 設定の前提	製品	定義	複数枚のフォトプリントをマルチフィーダーで分離、自動搬送し、スキャナで読み取り、デジタルデータ化を行なうフォトプリントスキャナ。
2			範囲	付属品は次の範囲とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングキット ・マニュアル類 ・機能を果たすための付属品として、CD-ROM 等で提供されるアプリケーションソフト、ドライバソフト ・梱包材一式
3		ステージ	範囲	全ライフサイクルステージ(本プログラムで規定する PEIDS に掲げるすべてのステージ:製造、物流、使用、廃棄・リサイクル)を対象とする。
4	製品 データシート (LCI入力データ)	製品ステージ 情報 (製品情報)	製品材料または 原料構成	<ol style="list-style-type: none"> 1) 部品等 A 扱いの部品 (加工、組立負荷を自身で把握する部品) キャリッジユニット組立を部品等Aとする。 2) 製品データシートに記載する材料分類名 製品データシートに記載する材料名は、”普通鋼、SUS、アルミニウム、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、半導体基板、木材”の 11 項目とする。 この 11 項目以外のものは原単位名を記載する。 3) 資源投入量 製品となった段階の材料質量で算出する。但し一部の部材が把握できない場合の特例として、製品全質量の 90%以上の材料を種類別に分類できる場合に残りを比例配分して 100%換算しても良いものとする。 4) オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷
5		製造ステージ 情報 (製造サイト情報)	投入、消費、 排出される物質 とエネルギー	<ol style="list-style-type: none"> 1) 投入・消費項目 電力・A 重油・軽油・灯油・ガソリン・LNG(都市ガス)、LPG、都市用水・工業用水・地下水。 但し、部品等 A に関する組立エネルギーは、MSDS の材料レベルまで負荷を遡る。 2) 排出項目 特定せず。但し、各社で重要と判断したものを記載する。 3) 輸送負荷 原則として投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。但し、部品等 A 扱いの部品についての製造サイト間の海外輸送負荷は計上する。 4) 副産物・副資材 計上しない。 <ul style="list-style-type: none"> ・副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 ・副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製品と共に出荷されないものを指す。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	<p>1) 製造元から販売拠点までの輸送手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づく。</p> <p>2) 総輸送距離 500kmとして算定する。</p> <p>3) 海外から国内への製品輸送負荷 製造サイトからの陸上及び海上輸送負荷を計上する。</p> <p>4) 本体包装の廃棄・リサイクル No.8『廃棄・リサイクル』に計上する。</p>
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	<p>1) 使用条件 ① 読取枚数は、L版フォトプリントサイズで3,360枚/月 (160枚/日×21日稼動)とする。 ② 使用期間は5年とし、その間の読取枚数は200,000枚とする。 ③ 消耗品及び保守条件は申請各社が自社の実績に基づき標準モデルを設定することとする。</p> <p>2) 使用ステージで必要となるフォトプリントは負荷計上の対象に含めない。</p> <p>3) 定期交換部品、消耗品の使用個数 対象:設計時の保守計画、又は保守基準に基づく。 個数:上記に基づく5年間の使用個数で端数切り上げの整数とする 輸送:条件は、500kmとして手段、積載は各社の条件設定とする。</p> <p>4) 定期交換部品、消耗品の廃棄・リサイクル条件は、No.8の『廃棄・リサイクル』に規定する。</p>
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<ul style="list-style-type: none"> 紙類は可燃物として扱う。 本体、付属品は産業廃棄物扱いとする。 <p>但し各社の実績に基づく廃棄・リサイクルの標準シナリオとその根拠を規定しても良く、オープンリサイクル/リユース部分は ①「間接影響」部分②「控除」部分について各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。</p>
9	製品環境情報開示シート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI 計算式	<p>部品等A:キャリッジユニット組立における総電力を把握する。(付図)</p> <p>オープンリサイクル/リユースを含む場合は、間接影響分と直接影響分に分けて計算し、「PEIDS」では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳を「解説」欄等に記載する。</p>
10		インパクト評価	カテゴリ追加	「オゾン層破壊」、「富栄養化」と「光化学オキシダント」は含めない。
11	内訳データシート	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12	>製品データシート関連	データ収集	収集範囲	新製品等でデータを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータで代用しても良い。
13			カットオフルール	組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
14	内訳データシート >PEIDS 関連	データベース	共通原単位の選定	対象>使用するエコリーフ共通原単位 1) 各社が決めた購入部品の組み立て>『部品組立』 2) 基板部及びCCDの部品製造は>『実装回路基板』 3) モータ及びトランスの部品製造>『中型モータ』 4) CCDの放熱板素材>『Cu板』 5) 電源基板の放熱板素材>『Al板』 6) キセノンランプ発光部の素材>『ガラス』 (注記: 以上は個別原単位の使用を制限するものではない。)
15			原単位の追加	なし。
16			特性化係数の追加	なし。
17	製品環境情報 PEAD	製品仕様		1) 読取速度 2) 読取プリントサイズ 3) 読取解像度 4) 製品質量
18		データ公開内容		1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷とエネルギー消費量 2) 任意記載項目 ガイドライン指定の選択7項目 3) Eセクション下部 注記内容 「使用期間5年、総プリント20万枚と想定しています。」 4) Eセクション 表現方法 温暖化負荷については棒グラフを原則とする。 5) オープンリサイクル/リユースを含む場合、ステージ毎の「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは分離して点線で表示し、リサイクル効果の内訳を欄外に記載すること。
19		その他環境関連情報 (選択記載事項)		当該製品に関係する、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。 1) タイプⅠおよび/またはタイプⅢの環境ラベル 2) ISO14001 認証の取得 3) 国または工業会等の認証・認定・表彰

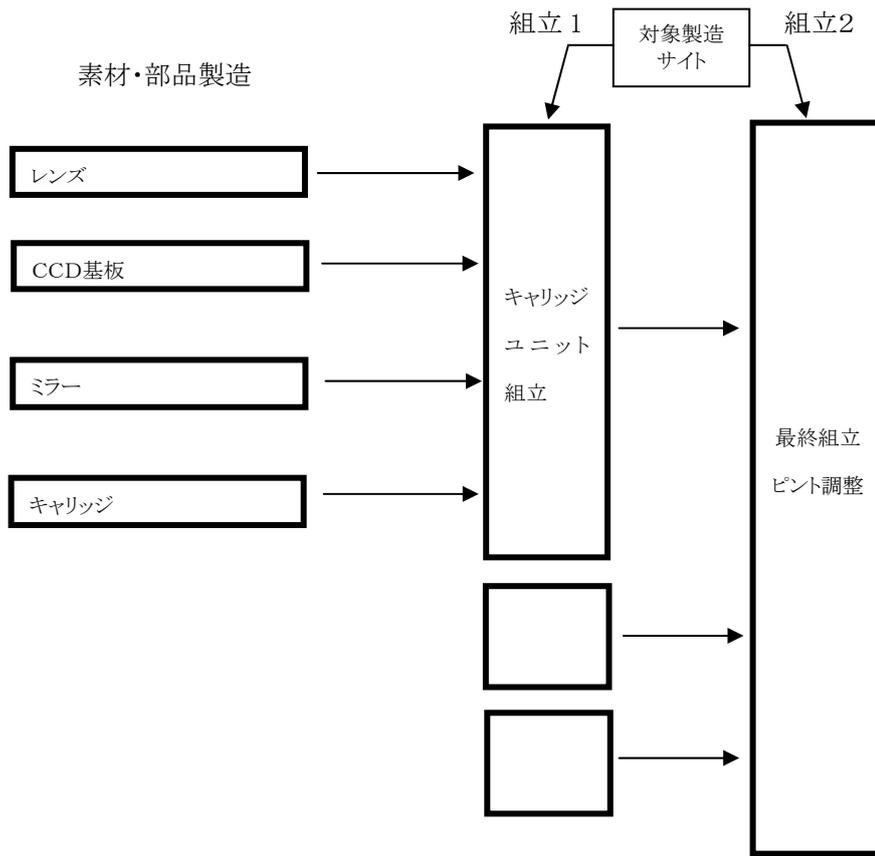
PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2003/9/29
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2003/9/29	01	制定
2004/3/1	02	海外輸送負荷の計上を追加、リサイクル効果における直接影響・間接影響の区別を追加、品質重み付け係数を削除
2004/9/29	03	物流ステージの内容を修正
2008/1/1		更新
2011/2/1		更新

付図 キャリッジユニット 組立ステージイメージ図



製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

<規定改定前のPCR項目>

<規定改定後のPCR項目>

No.	規定改定前のPCR項目		No.	規定改定後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				